KENGURO 季刊報 vol.26

INDEX

Focus on!!

今年も韓国・ハンバット大学校と学生間交流を実施！

Focus on!!

今年も韓国・ハンバット大学校と学生間交流を実施しました !!

昨年に引き続き今年も韓国･ハンバット大学校と双方向の学生間交流を行いました。2024 年 8 月 25 日 (日) から 8 月 29 日 (木) の日程でハンバット大学校から 10 名の学生および 5 名の教職員が来学するとともに、9 月 22 日 (日) から 9 月 26 日 (木) の日程で、今度は本学学生 10 名と 5 名の教員が韓国･大田広域市のハンバット大学校を訪問しました。本学学生とハンバット学生の日韓チームによる共同 PBL（問題解決型学習）、研究室見学、文化施設見学などのイベントを通して、両大学学生が交流を行いましたのでご紹介します。

岩手大学で交流開始 !!

研修初日午前は、長田理工学部長による冒頭挨拶の後、ハンバット大学教員 3 名、本学教員 1 名によるミニ講義が行われました。午後は、両大学の学生による自己紹介、ハンバット大学生による PBL テーマ紹介の後、早速、日韓混成チームによる共同 PBL を開始しました。今回の PBL テーマは、①少子高齢化対策、②増える空き家の活用、③持続可能な都市農業、④情報リテラシー向上のアイデア、⑤エネルギー貧困の解決策、の 5 つです。各テーマごとに、ハンバット大学生 2 名、岩大生 2 名の計 4 名のチームをつくり議論を進めました。研修 2 日目は引き続き共同 PBL を行った後、中間発表会で各チームのアイデアが報告されました。教員による質問・指摘事項をもとに、各チームともアイデアをブラッシュアップし、ハンバット大学校での共同 PBL に臨むことになりました。研修の修了証書授与式後は、ハンバット大学生は化学・電子工学・機械・社会環境・デザイン情報分野の 5 班に分かれて研究室見学を行いました。

翌日は、岩手を知ってもらうことを目的に、貸切バスで岩泉・宮古方面へ出掛けました。龍泉洞の青く透明な地底湖を満喫した後、宮古の浄土ヶ浜を観光しました。昼食で海鮮丼を堪能した後、遊覧船に乗船し、うみねこへの餌付け体験をしました。帰盛後、韓国での再会を期して、ハンバットの方々とお別れしました。

龍泉洞の入口前にて（写真上）。台風 5 号の大雨で冠水被害を受けましたが、無事営業再開され、ハンバットの方々をお連れすることができました。

研修初日の共同 PBL の一コマ（写真右）。両大学の学生同士が打ち解けて、スムーズに議論を進めている様子でした。

共同 PBL の中間発表の様子（写真左）。テーマ①のチームが少子高齢化の解決法のアイデアを発表しています。

修了証書授与式後に皆さんで記念撮影（写真右）。中間発表会も無事終り、学生の皆さんはほっとしている様子ですね。

交流 2 日目の夕食会は東家でわんこそばを体験（写真左）。ハンバット大学生 10 名中 5 名が 100 杯越えでした。

ハンバット大学校を訪問 !!

ハンバット大学校での研修初日は、本学教員 2 名、ハンバット教員 1 名によるミニ講義、共同 PBL が行われました。2 日目昼まで共同 PBL を実施後、午後は 1 チームあたり 20 分の成果発表を行いました。各チームのアイデアについて教授陣が評価を行い、優れた発表チームには金賞が授与されました。３日目午前はハンバット大学校における先端科学技術を体感することを目的に、同校内のソーラーキューブ、半導体計測・製造ルーム、機械工学ラボを見学しました。午後は 3D プリンタによるコースター作りと大田市内観光を行いました。帰国前日の４日目は、ハンバッ大学校の方々と一緒にソウルに移動し、朝鮮王朝の王宮である景福宮、若者の街でサブカルチャー発信地である弘大を観光し、帰路につきました。

ハンバット大学校での初日の共同 PBL の一コマ（写真左）。皆さん黙々と作業しています。

共同 PBL の成果発表会では、テーマ③の日韓グループが金賞を受賞しました（写真右）。

ソウル光化門広場の世宗大王像前にて（写真上）

修了証書授与式後に皆さんで集合写真（写真上）。

参加学生の声

高橋 尚暉さん，地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース M1

今回の交流会では、PBL や研究室見学を通して様々なことを学ぶことが出来た。PBL では、日本の学生と韓国の学生との間で意見が異なることもあったが、明瞭な意見の違いのあるディスカッションはかなり刺激になった。また、PBL 発表会では金賞を受賞できたため、これまでの努力が報われ満足のいく結果であった。さらに、本研修では英語を使用していたこともあり、自身の英語能力を知る良い機会にもなった。渡航前は英語に対して苦手意識があったが、会話する中で英語は伝える意思が重要という事を理解できた。本プログラムは総じて自信につながったと感じた。

Kim Gahyeon さん，Industrial Design B4

Participating in this project has allowed us to significantly enhance our personal capabilities. Approaching problems in new way that I had not previously considered through debates became a catalyst for my growth. We attempted to tackle the capstone topic using the knowledge from each student's major. It was a challenging endeavor, but we explored various methods and examined their practical applicability. With this experience, I aspire to merge it with my major and become someone who creates designs that are both realistic and essential for users.

松川 実央さん，地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース M1

今回の交流会はとても貴重な経験となり，様々な面で大きく成長することができました．私は英語が苦手で，最初は英単語のみを使っていましたが，周りの英会話を聞いているうちに，自然と文章を構成して会話ができるようになりました．英語を用いたコミュニケーションは多くの人と英会話を行うことで上達すると感じ，英語を用いた交流の重要性が分かりました．また，ハンバットの学生と PBL を行ったことで，物事を見る視点を増やすことができました．韓国で過ごした 6 日間はとても楽しく，充実したため，この経験を糧に様々な国に行ってみたいと思います．

Lee Wonseop さん，Creative Convergence Engineering B4

Attending this program has been a valuable experience. In my major, we typically study engineering fields such as 3D printing and semiconductors, but we rarely have the chance to explore areas like industrial management or urban environments. Thus this project provided me with broader inspiration. Since none of us spoke each other's native language, it was a great opportunity to improve my English communication skills. Through this project, I made many new friends, gained valuable knowledge, and even developed stronger communication skills.

掲示板　★国際交流広報コーナーがリニューアル！

理工学部 1 号館 1 階ラウンジにある「国際交流広報コーナー」をご存知ですか？この度、新しく交流協定を結んだ大学の紹介パネルを一新しました！田中隆充先生の研究室の学生さんにご協力いただき、レーザー加工機を用いて素敵なパネルを製作していただきました。正面玄関を入ってすぐ目の前ですので、ぜひ一度お立ち寄りください。海外の大学からのお土産や大学校舎の写真で海外を感じていただけたらと思います。

編集局：
研究高度化・グローバル化特別対策室
Email: kenguro@iwate-u.ac.jp
TEL: 019-621-6405
http://www.kenguro.iwate-u.ac.jp/

研グロHP